

スポーツ史学会第27回大会 プログラム

2013年11月30日(土)	2013年12月1日(日)
受付開始 11:30	受付開始 8:45
一般研究発表① 12:00~12:25 座長：綿貫 慶徳（上智大学） 阿部 武尊（一橋大学大学院） 労働組合日本プロ野球選手会の労使交渉過程 -1985-1993年を中心に-	一般研究発表⑨ 9:00~9:25 座長：松本 芳明（大阪学院大学） 菅井 京子（びわこ成蹊スポーツ大学） R. ボーデの「表出体操の本質について」にみられるL. クラーゲスの影響について（その2） -L. クラーゲスの『表出学の基礎理論』を手掛かりにして-
一般研究発表② 12:25~12:50 座長：坂上 康博（一橋大学） 中村 哲也（早稲田大学） 戦後日本における大学スポーツの変容 -1970年代の「大学運動部の危機」に着目して-	一般研究発表⑩ 9:25~9:50 座長：来田 享子（中京大学） 黒須 朱莉（一橋大学大学院） 1968年第67回IOC総会における「オリンピック休戦」に関する決議 -アベリー・ブランデー・コレクション史料とIOC理事会とNOCs会議議事録を中心に-
一般研究発表③ 12:50~13:15 座長：福地 豊樹（群馬大学） 谷釜 尊徳（東洋大学） 近世における東北地方の庶民による伊勢参宮の旅のルートと歩行距離 -旅日記（1691~1866年）の分析を通して-	一般研究発表⑪ 9:50~10:15 座長：中房 敏朗（大阪体育大学） 青沼 裕之（武蔵野美術大学） イギリス・フットボール協会（FA）結成の意図はどこにあったのか？
一般研究発表④ 13:15~13:40 座長：大川 信行（富山大学） 小谷 究（日本体育大学大学院） 日本におけるバスケットボール競技のバリエーションに関する史的研究	一般研究発表⑫ 10:15~10:40 座長：遠藤 保子（立命館大学） 今野 和志（筑波大学大学院） アメリカスポーツの「人種統合」と黒人中産階級 -シカゴ黒人雑誌『エボニー』を手がかりとして：1945-1967年-
休憩 13:40~13:55	休憩 10:40~10:50
一般研究発表⑤ 13:55~14:20 座長：松尾 順一（東洋大学） 張 巧鳳（日本体育大学大学院） 日本における「エアロビクス」概念の変容に関する一考察 -エアロビックスダンスの導入過程に注目して-	一般研究発表⑬ 10:50~11:15 座長：木下 秀明（元日本大学） 及川 佑介（東京女子体育大学） スポーツ資料収集家・田尾栄一に関する一考察
一般研究発表⑥ 14:20~14:45 座長：早瀬 健介（東京女子体育大学） 坂中 勇亮（中央区体育協会） 総合型地域スポーツクラブに関する研究の動向 -1995年から2013年に着目して-	一般研究発表⑭ 11:15~11:40 座長：中村 民雄（福島大学） 坂本 太一（岐阜薬科大学）・矢野 裕介（日本体育大学） 近代日本における剣道用具の変遷-特許史料に着目して-
一般研究発表⑦ 14:45~15:10 座長：竹村 匡弥（ISC21） 松本 彰之（日本体育大学大学院） 近・現代における奉納相撲についての史的考察 -奉納子供相撲の起源に着目して-	一般研究発表⑮ 11:40~12:05 座長：秦 真人（愛知学泉短期大学） 鈴木 直樹（下郷中学校） 野球における投手のオーバースローの運動技術史 -技術書・指導書を手がかりとして-
一般研究発表⑧ 15:10~15:35 座長：石井 隆憲（東洋大学） 岡 雄生（世田谷区役所） 植民地下朝鮮における日本相撲 -韓国併合前後に焦点をあてて-	休憩（昼食）（理事会） 12:05~13:10
休憩 15:35~15:50	一般研究発表⑯ 13:10~13:35 座長：松浪 稔（東海大学） 脇田 泰子（相山女学園大学） オリンピック放送の原点-ラジオと1924年のフランス-
シンポジウム 15:50~17:50	一般研究発表⑰ 13:35~14:00 座長：松浪 稔（東海大学） 玉置 通夫（元甲南女子大学） 戦時下のプロ野球研究-昭和19年まで活動できた要因-
テーマ：『ドイツスポーツ史研究の今日的課題』	一般研究発表⑱ 14:00~14:25 座長：掛水 通子（東京女子体育大学） 木村 華織（東海学園大学）・来田 享子（中京大学） 日本水上競技連盟における女子部委員会の役割 -規約及び競技規程の検討を中心に-
シンポジスト：楠戸 一彦（環太平洋大学）	一般研究発表⑲ 14:25~14:50 座長：高橋 幸一（元山形大学） 佐々木 陸摩（早稲田大学スポーツ科学研究科） 日本におけるスポーツ医学の成立過程-小笠原道生を中心にして-
小原 淳（和歌山大学）	一般研究発表⑳ 14:50~15:15 座長：稲垣 正浩（ISC21） 藤田 直人（法政大学） 武家鞆に関する考察-鎌倉の鞠庭に遊ぶ身体を視座にして-
船井 廣則（名古屋経済大学短期大学部）	総会 15:30~16:30
司 会：松尾 順一（東洋大学）	
情報交換会 18:15~20:15 【キャンパス食堂】	

○一般研究発表は、発表18分 質疑応答7分（一鈴16分（発表終了2分前）、二鈴18分（発表終了）、三鈴25分（質疑応答終了））

○学会大会の円滑な運営のため、PCを使用して発表する場合は、事前にデータを移していただきます。

○大会当日、発表者およびシンポジスト用の受付を用意します。受付の際、学会大会用PCにデータの移動をお願いします。

○当日配布資料がある場合は、100部用意して、受付にご提出ください。



スポーツ史学会 第27回大会

会 場：東洋大学朝霞キャンパス 講義棟3階 314教室
期 日：2013年11月30日(土)・12月1日(日)
大会参加費：一般4000円 学生2000円
主 催：スポーツ史学会

一般研究発表

日本及び諸外国のスポーツ史に関する発表20題

11月30日(土)12時～15時35分(予定)

12月 1日(日) 9時～15時15分(予定)

公開シンポジウム (日本スポーツ体育健康科学学術連合協賛)

テーマ：「ドイツスポーツ史研究の今日的課題」

シンポジスト

楠戸 一彦氏 (環太平洋大学)
「ドイツ中世スポーツ史の立場から」

小原 淳氏 (和歌山大学)
「西洋社会史の立場から」

船井 廣則氏 (名古屋経済大学短期大学部)
「東ドイツスポーツ史の立場から」

司 会：松尾 順一 (東洋大学)

日 時：11月30日(土)15:50～17:50 (予定)

※シンポジウムは一般公開で参加費は無料です。

※聴講をご希望の方は当日会場までお越しください。

※お車でのご来場はご遠慮ください。

アクセス：東部東上線朝霞台・JR武蔵野線北朝霞から徒歩10分

大会事務局 〒351-8510 埼玉県朝霞市岡48-1

東洋大学 ライフデザイン学部健康スポーツ学科 松尾研究室着付
スポーツ史学会第27回大会事務局

TEL：048 (468) 6358 E-Mail: jmatsuo@toyo.jp

